

ぬの 布

日本の

手仕事

うつくしき

令和3年[2021年]
7月17日【土】

9月20日【月・祝】



横浜市歴史博物館
Yokohama History Museum

〒224-0003 横浜市中区中川中央1-18-1

TEL: 045-1912-7777

https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/



開館時間 9:00～16:30 (券売は16:00まで)
休館日 月曜日(ただし8月9日、9月20日は開館)、8月10日(火)
観覧料 企画展: 一般1,000円(800円)、高校・大学生700円(560円)、
小・中学生・横浜市内在住65歳以上500円(400円)
常設展共通: 一般1,200円(960円)、高校・大学生800円(640円)、
小・中学生・横浜市内在住65歳以上550円(440円)

* 会期中一部展示替えがあります。
* ご来館の際はオンラインによる事前予約(日時指定)をご利用ください。
* ()内は団体20名以上の料金 * 毎週土曜日は、小・中・高校生は無料
* 障がい者及び付添の方は無料 * 補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)と一緒に入館できます。
主催: 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団、神奈川大学日本常民文化研究所
共催: 横浜市教育委員会

* 新型コロナウイルスの感染状況によっては、展示会期等を変更する場合があります。最新の情報は横浜市歴史博物館ホームページまたはお電話にてご確認ください。

展示関連事業

- ❖ 講演会「衣服の禁忌とまじない」
常光 徹氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)
9月12日(日)14:00～15:30
詳細は横浜市歴史博物館ホームページをご覧ください。
- ❖ 神奈川大学エクステンション講座(全3回)
Japanese Folk Textile 日本の布 東北地方を中心に
内容詳細・申し込みは以下へどうぞ。
神奈川大学 生涯学習・エクステンション講座係
E-mail: info@ku-portsquare.jp
TEL: 045-682-5553 FAX: 045-682-5554



ぬの うつくしき 日本の 手仕事



人々が日常のくらしで着る衣服は、江戸時代以降は木綿が、それ以前は様々な草や木が素材でした。

時間と労力を費やして、草や木から繊維をとおり、糸にして布を織る。その布から仕立てられた日常の着物には、暖かさや丈夫さといった実用性を高めるため、刺子や型染などの手仕事の技が施されました。なかでも東北地方で生まれた「ごんざん」や「菱刺」の美しさは国内外で高く評価されています。

神奈川大学日本常民文化研究所と共同で開催する本展では、日本で伝統的に使われてきた草木を素材とした布と、主に東北地方で用いられた刺子や型染、また裂織などに注目し、うつくしく、こまやかな手仕事の世界を紹介します。

東日本大震災から10年を経た今年、東北地方の豊かな布文化と実用の美を楽しんでいただけたら幸いです。

展示関連事業

① 講演会「衣服の禁忌とまじない」

常光 徹氏 (国立歴史民俗博物館名誉教授)
9月12日(日) 14:00~15:30
定員:80名 参加費:500円 会場:博物館講堂

② トークセッション「地域創生 西会津と鳥取と」

矢部 佳宏氏
(一般社団法人BOOT代表理事 西会津国際芸術村ディレクター)、
小林 光一郎(横浜市歴史博物館・鳥取県文化財保護審議委員)、
羽毛田 智幸(横浜市歴史博物館)
8月28日(土) 13:30~15:30
定員:80名 参加費:1000円 会場:博物館講堂

③ 布にまつわるここだけの話

毎回異なるゲストを迎え、多彩な視点から展示を語るミニ講座です。
① 7月23日(金・祝) ② 9月4日(土)
③ 9月11日(土) ④ 9月18日(土)
時間:いずれも 13:30~14:30
定員:各回80名 参加費:500円 会場:博物館講堂

④ イブニングギャラリー

閉館後の展示室で、専門家をゲストに迎え、展示を解説します。
① 8月6日(金) ② 8月26日(木)
時間:いずれも 17:00~
定員:各回15名 参加費:2000円

⑤ 会津木綿ハギレワークショップ

7月24日(土) ① 10:30~12:00 ② 13:30~15:00
定員:各回12名 参加費:1500円 会場:工房

⑥ 型染ワークショップ(万祝染)

8月7日(土) ① 13:20~
8月8日(日) ② 9:20~③ 13:20~
定員:各回12名 参加費:1500円 会場:工房

内容の詳細は横浜市歴史博物館ホームページをご覧ください。

お申し込み方法 ①~⑥は事前申し込み制です。

【ホームページ】6月1日(火)から申し込み開始
イベント申し込みページ「企画展・特別展開連イベント」
から申し込み画面へお進みください。
携帯電話・スマートフォン・タブレット不可。
(動作保証しておりません)

【往復はがき】

ア.ご希望のイベント名 イ.郵便番号・住所
ウ.氏名(ふりがな) エ.年齢 オ.電話番号
カ.どこでこのイベントを知ったかを明記のうえ博物館まで。
※往復はがき1通につき1イベント1名まで。

【締切】ホームページ各日 17:00、往復ハガキ各日必着

① 8/25(水)、② 8/11(水)、③-① 7/7(水)、
③-② 8/18(水)、③-③ 8/25(水)、③-④ 9/1(水)、
④-① 7/21(水)、④-② 8/11(水)、
⑤-①・② 7/7(水)、⑥-①・②・③ 7/21(水)

「原始布織工房・出羽の織座 展示会

「原始布から自然布の世界にあそぶ」
9月9日(木)~9月12日(日) 会場:博物館研修室

神奈川大学日本常民文化研究所主催 エクステンション講座(オンライン講座)

「Japanese Folk Textile 日本の布 東北地方を中心に」

内容詳細・申し込みは以下へどうぞ。
神奈川大学生涯学習・エクステンション講座係
E-mail: info@ku-portsquare.jp
TEL: 045-682-5553 FAX: 045-682-5554



* 新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、
関連イベントについては変更する場合があります。

リピーター割引

入館時にお渡しするリピーター割引券を、次回ご来館時に
受付でご提示いただくと、会期中 1回限り、通常料金の
2割引きで入館できます。(他の割引と併用はできません。)

日時指定オンラインチケットのご案内

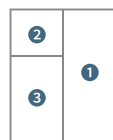
購入・詳細は、博物館ホームページをご確認ください。
事前の購入をおすすめします。

次回展示会のご案内

「横浜の大名 武州金沢藩の幕末維新」(仮)
会期: 10月2日(土)~11月23日(火・祝)



チラン表面



- ① 裂織長着 青森市教育委員会所蔵
(青森県指定有形民俗文化財)
- ② ごんざん身頃
- ③ 裂織袖無 神奈川大学日本常民文化研究所所蔵

- ① 型染掻巻 原始布・古代織参考館所蔵
- ② アットゥン 青森市教育委員会所蔵
- ③ 菱刺前掛(部分) 三沢市教育委員会所蔵
(国指定重要有形民俗文化財)
- ④ 型染布団 神奈川大学日本常民文化研究所所蔵
- ⑤ 三縞ごんざん 青森市教育委員会所蔵
(青森県指定有形民俗文化財)



横浜市歴史博物館
Yokohama History Museum

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-18-1
Tel: 045-912-7777
<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>

横浜市営地下鉄「センター北」駅下車
1番出口から徒歩5分
駐車場あり(30分100円)



横浜市歴史博物館は(公財)横浜市ふるさと歴史財団が指定管理者として管理・運営しています。